



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年5月9日

上場会社名 ジャパンシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9758 URL <http://www.japan-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪口 正坦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村中 達郎 TEL 03-5309-0300
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第1四半期 | 2,237 | 20.3 | 119 | 46.6 | 126 | 28.2 | 86 | 12.6 |
| 25年12月期第1四半期 | 1,859 | △2.0 | 81 | △46.8 | 99 | △38.1 | 76 | △51.2 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期第1四半期 | 3.32 | — |
| 25年12月期第1四半期 | 2.95 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年12月期第1四半期 | 5,365 | 4,074 | 75.9 | 156.48 |
| 25年12月期 | 5,178 | 4,071 | 78.6 | 156.35 |

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 4,074百万円 25年12月期 4,071百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期 | — | 0.00 | — | 3.50 | 3.50 |
| 26年12月期 | — | — | — | — | — |
| 26年12月期（予想） | — | — | — | — | — |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

当社の平成26年12月期の売上高は、10%程度の成長を見込んでおり、さらに新規ビジネスを加えて事業の拡大を積極的に推進しております。しかしながら現段階で、その売上高は、変動要素が多く業績予想を精緻な数値で合理的に算出することが困難な状況であります。従いまして、業績予想の開示を控えさせていただきます。

今後、業績予想が可能になりました段階で改めて公表します。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年12月期1Q | 26,051,832株 | 25年12月期 | 26,051,832株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年12月期1Q | 15,232株 | 25年12月期 | 14,729株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年12月期1Q | 26,036,907株 | 25年12月期1Q | 26,037,960株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】2ページ「当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第1四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益や個人消費の動きに改善が見られるなど国内景気はゆるやかな回復基調で推移いたしました。平成26年4月の消費税率引き上げに伴う消費低迷への懸念や新興国経済の減速懸念など海外経済の不安定要素も高まり、先行きは不透明な状況が継続しております。

情報サービス産業におきましては、企業のITインフラ更新やクラウドコンピューティングの普及などにより一部に需要回復の傾向がみられ、前事業年度に引続きIT投資は全体的に堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社は、「2016年までにITサービス企業ランキング150傑に入る」ことを目標に2012年に中期経営計画「Reach for 150 / Driving for NEXT NEW with Comfort and Convenience」を策定しました。同時に、お客様の新たな価値を創造し提供し続けることを通じて数値目標「売上高150億円」を達成することを新ビジョンステートメントに定め、「Reach for 150」をスローガンに掲げました。当事業年度は、前事業年度の「脱・・から進化へ」を引継ぎ「進化から飛翔へ」を活動テーマに掲げ、これまで提言し実行してまいりました諸施策をさらに進展・進化させ柔軟で豊かな発想をベースに勢いよく事業を展開し、より高い飛翔レベルのステージで活動を続ける企業を目指します。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は2,237百万円(前年同四半期比20.3%増)となりました。また営業利益は119百万円(前年同四半期比46.6%増)、経常利益は126百万円(前年同四半期比28.2%増)、四半期純利益は86百万円(前年同四半期比12.6%増)となりました。

サービス品目別の売上高は次のとおりであります。

①アプリケーションソフトウェア開発

アプリケーションソフトウェア開発は、主に官公庁、金融、通信、公益、製造、流通及び官公庁などの業務ソフトウェア開発が中心であります。当第1四半期累計期間におきましては、売上高は1,414百万円(前年同四半期比4.9%増)となりました。

②パッケージソフトウェア開発

パッケージソフトウェア開発は、主に自治体を中心とする行政経営支援サービス(FAST)及びPCセキュリティ/アクセス管理ソリューション(ARCACLAVISシリーズ)が中心であります。当第1四半期累計期間におきましては、売上高は423百万円(前年同四半期比62.0%増)となりました。

③コンピュータ機器等販売

コンピュータ機器等販売は、主に自治体及び一般企業を取引先として、コンピュータ機器とその周辺機器やネットワーク製品を中心とした販売が中心であります。当第1四半期累計期間におきましては、売上高は399百万円(前年同四半期比59.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は5,365百万円となり、前事業年度末と比べ186百万円の増加となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が増加した一方で、現金及び預金、仕掛品が減少したこと等により165百万円増加し2,790百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産が増加した一方で、有形固定資産が減少したこと等により20百万円増加し2,574百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は、未払金、預り金が減少した一方で、支払手形及び買掛金、賞与引当金が増加したこと等により前事業年度末に比べ183百万円増加し1,290百万円となりました。

純資産は四半期純利益が発生し、その他有価証券評価差額金が増加した一方で、配当金を支出したこと等により3百万円増加し4,074百万円となり、自己資本比率は75.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の平成26年12月期の売上高は、10%程度の成長を見込んでおり、さらに新規ビジネスを加えて事業の拡大を積極的に推進しております。しかしながら現段階で、その売上高は、変動要素が多く業績予想を精緻な数値で合理的に算出することが困難な状況であります。従いまして、業績予想の開示を控えさせていただきます。

今後、業績予想が可能になりました段階で改めて公表します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|-------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 811,320 | 755,469 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,414,684 | 1,664,141 |
| 商品 | 48,122 | 37,370 |
| 仕掛品 | 115,623 | 104,147 |
| その他 | 249,050 | 240,921 |
| 貸倒引当金 | △14,490 | △11,987 |
| 流動資産合計 | 2,624,311 | 2,790,063 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 113,985 | 106,809 |
| 無形固定資産 | 682,937 | 680,941 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期預金 | 1,300,000 | 1,300,000 |
| その他 | 457,249 | 487,203 |
| 投資その他の資産合計 | 1,757,249 | 1,787,203 |
| 固定資産合計 | 2,554,172 | 2,574,954 |
| 資産合計 | 5,178,484 | 5,365,018 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 309,951 | 454,432 |
| 短期借入金 | 150,000 | 150,000 |
| 未払金 | 216,860 | 183,263 |
| 未払法人税等 | 61,846 | 31,382 |
| 前受金 | 95,885 | 88,436 |
| 預り金 | 116,228 | 53,444 |
| 賞与引当金 | 50,190 | 198,343 |
| 受注損失引当金 | — | 16,888 |
| 事業構造改善引当金 | 22,541 | 370 |
| その他 | 25,004 | 55,134 |
| 流動負債合計 | 1,048,508 | 1,231,695 |
| 固定負債 | | |
| 長期未払金 | 898 | 727 |
| 資産除去債務 | 58,064 | 58,295 |
| 固定負債合計 | 58,963 | 59,022 |
| 負債合計 | 1,107,471 | 1,290,718 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,302,591 | 1,302,591 |
| 資本剰余金 | 1,883,737 | 1,883,737 |
| 利益剰余金 | 876,872 | 872,274 |
| 自己株式 | △3,948 | △4,109 |
| 株主資本合計 | 4,059,252 | 4,054,494 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,759 | 19,805 |
| 評価・換算差額等合計 | 11,759 | 19,805 |
| 純資産合計 | 4,071,012 | 4,074,299 |
| 負債純資産合計 | 5,178,484 | 5,365,018 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,859,340 | 2,237,633 |
| 売上原価 | 1,411,492 | 1,752,872 |
| 売上総利益 | 447,847 | 484,761 |
| 販売費及び一般管理費 | 366,232 | 365,139 |
| 営業利益 | 81,615 | 119,622 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 456 | 328 |
| 受取配当金 | 3,912 | 4,326 |
| 助成金収入 | 10,111 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 3,000 | 3,000 |
| その他 | 551 | 596 |
| 営業外収益合計 | 18,031 | 8,251 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 549 | 549 |
| その他 | 89 | 409 |
| 営業外費用合計 | 638 | 959 |
| 経常利益 | 99,008 | 126,914 |
| 特別利益 | | |
| 事業構造改善引当金戻入額 | — | 16,281 |
| 特別利益合計 | — | 16,281 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 0 |
| 特別損失合計 | — | 0 |
| 税引前四半期純利益 | 99,008 | 143,195 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 22,174 | 25,528 |
| 法人税等調整額 | — | 31,133 |
| 法人税等合計 | 22,174 | 56,662 |
| 四半期純利益 | 76,833 | 86,532 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、情報サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。